

第6回 生涯学習審議会会議抄録

日時：令和4年4月21日（木）13時30分～15時00分

場所：西宮市役所 第二庁舎 B405 会議室

◆出席委員

立田会長※、森副会長、飯干委員、田中由委員、三澤委員、川本委員、田中理委員、佐藤委員、本多委員※、吉田委員

◆行政出席者

長谷川産業文化局長※、上田生涯学習部長兼市民局参与、天田文化スポーツ部長※、藤井教育次長※、岡田地域学校協働課長※、後迫地域学校協働課担当課長（放課後事業 併任 育成センター課担当課長）※、山崎青少年育成課長※、俵谷文化財課長※、岡本地域学習推進課長※、石井地域学習推進課担当課長（地域学習・大学連携）※、古川地域学習推進課担当課長（宮水学園等）※、中西読書振興課長※、中尾読書振興課担当課長（図書館企画）※、

【事務局】

秋山生涯学習企画課長（併任 学校支援部参事）、坂井生涯学習企画課係長、長手生涯学習企画課係長、酒井生涯学習企画課副主査※

※Zoom を介した出席

◆傍聴者

なし

署名委員

◆第6回生涯学習審議会

会長 　　ただいまより、第6回生涯学習審議会を開催します。
本日の出席者は10名です。
本日の傍聴はありますか。

事務局 　　ございません。

事務局 　　本日は、今期最後の審議会となります。
この度、4月に生涯学習企画課長となりました、秋山と申します。
本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

まずは、委員の紹介でございますが、本審議会の最後に委員の皆様よりご感想等をいただくため、冒頭の委員紹介は3頁目「資料1」の名簿の確認に代えさせていただきますことをご了承ください。

次に、行政出席者の紹介です。本日はお時間の関係で、4月に新たに着任した職員を私より所属と名前のみ読み上げさせていただきます。

【職員読み上げ】

その他の職員は、名簿の確認にて代えさせていただきます。

会長 　　では、次第に従いまして議事を進めてまいります。
報告事項 第1号 令和4年度生涯学習関係施策についてです。事務局よりお願ひします。

事務局 　　本日の資料としまして、事前に「西宮教育推進の方向」の冊子を郵送させていただきます。令和4年度の西宮教育の推進方針や主要な事業等の概要及び青少年育成、家庭教育、留守家庭・放課後等の児童育成について掲載しております。また、「西宮市生涯学習推進計画」の概要については、90頁の「資料欄」に掲載しておりますので、お時間のある時に一読いただければと思います。

会長 　　ありがとうございました。
報告事項第2号 生涯学習推進計画に基づく事業実施状況についてです。
(1) 公民館地域づくりワークショップについて、事務局よりお願ひします。

事務局 　　資料としましては、5頁から17頁となります。
公民館地域づくりワークショップは、幅広い世代の交流とつながりづくりや地域活動のきっかけとなる取り組みとして、令和3年度から実施した事業です。
令和3年度は大社公民館、段上公民館の2館で各4回のワークショップを開催いたしました。

概要を簡単にご説明させていただきます。

まず1回目は、地域の団体から構成され、公民館の運営に携わっていただいております公民館運営協議会と、公民館講座の企画運営をいただいている公民館地域学習推進委員会の皆さんで、自己紹介を交えてお互いを知るという目的でお試しワークショップを実施いたしました。

次に2回目といたしまして、実際に公民館で何をやってみたいか、公民館に何を期待するかなどを話し合ってくださいました。出た意見をもとに、3回目のワークショップでボードゲームやボッチャなどを体験し、次回へどのようにつなげていくかということをお話し合いました。

最終回となります4回目では、日曜日に全館貸切で公民館オープンデーというイベントとして開催いたしました。コロナ禍での開催ではございましたが、ロビーでのレコード鑑賞やモルック、絵本の読み聞かせなど、これまでのワークショップで出し合った意見をもとに広く地域の方にお集まりいただきました。

開催当初は、ワークショップの必要性について中々浸透せずに進んでおりましたが、企画する段階で楽しさを見出したり、これまで公民館に関わりのなかった方がチラシを見て参加し、ボランティアスタッフとして運営に関わってくださるというようなこともあり、一定の必要性の認識と成果があったと考えております。今後はこのような活動をいかに継続していけるか、また地域学習推進委員会の活動とどのように連携していくか、といったことが課題となっています。

令和4年度以降は大社・段上の両公民館で継続して実施するほかに、一館ずつ実施公民館を増やしていく方針で、より多くの地区での実施を目指しています。なお、ワークショップのファシリテートやチラシのデザイン、企画等について専門の事業者業務委託してまいりましたが、4年度も引き続き委託する予定です。

会長 ありがとうございます。報告事項については後でまとめて委員の皆さんからご意見等いただきたいと思っておりますので、引き続き（2）にしのみやシチズンカレッジについて、事務局よりお願いします。

事務局 お手元に「にしのみやシチズンカレッジ」のパンフレットをお配りしております。令和4年度に予定している人材育成講座やボランティア養成講座をわかりやすくまとめて、活動にいざなうためのパンフレットを作成し、公共施設に配布いたしました。3月25日号の市政ニュースの1面には、このパンフレットも含め、生涯学習に関する記事を掲載いたしました。

会長 ありがとうございます。
では引き続き、（3）大学交流センター開設・大学交流協議会設立20周年記念事業について、地域学習推進課よりお願いします。

事務局 （資料p.19）西宮市は10の大学・短期大学を有する「大学のまち」として、平成13年に西宮市大学交流センターを開設し、これらの大学などで構成する西宮市大学交流協議会とともに、「大学間の交流」「大学と地域社会・市民との交流」を進めてきました。

このたび設立20周年を迎え、記念事業として、3月12日に記念式典・基調講演・パネルディスカッションを開催しました。

また、記念事業の一環として、11月26日に石井市長と市内大学に通う学生との座談会も開催しており、事業の詳細は資料のとおりです。

記念事業の様子はYouTubeでも配信しておりますので、よろしければご覧ください。

会長 ありがとうございます。
では、（1）公民館地域づくりワークショップについてと、（2）にしのみやシチズンカレッジ、（3）大学交流センター開設・大学交流協議会設立20周年記念事業について、何かご意見・質問はございますか。

会長 では、ご説明いただいた事業の今後の方向性について、例えば、「にしのみやシチズンカレッジ」は、2022年度以後は増設していく予定なのかどうか、公民館の地域づくり事業についても、今後の予定がありましたらご説明願います。

事務局 まず「にしのみやシチズンカレッジ」についてですが、今回 2022 年度版のパ
ンフレットを発行させていただいていますが、今後毎年度ごとに発行していく予
定です。内容その都度、最新の情報にアップデートして発行していくことを考
えています。

次に公民館のワークショップですが、令和 4 年度には 3 年度に実施した大社公
民館、段上公民館以外にもう 1 館増やして実施していく予定です。それ以後も
できる限り、毎年実施館を新しく増やしていく、より多くの地区で実施して
いくことを目指しています。

会長 ありがとうございます。大学交流センターについていかがでしょうか。

事務局 大学交流センター・大学交流協議会は 20 周年を迎えましたが、今後は、更
にその先を見据えた事業を実施するという事で、市長からも、シチズンシッ
プの醸成、学生のキャリアデザインの支援、大学・学生と地域社会の連携に取
り組むよう提言がなされています。令和 4 年度は大学交流センターを活用
したシチズンシップ醸成のための市民対象講座を開催します。インターカ
レッジ西宮、大学共同講座においてシチズンシップを共通テーマに設定し、
各大学がリレー形式で講義を実施します。また共通単位講座などにおきま
してSDG sを意識し、ターゲットの表示を行えるようにしています。

また、学生のキャリアデザインの支援ということで、市内大学や短期大学間
の単位互換制度である共通単位講座においてオリジナル科目として「組織・
仕事から考えるライフデザイン」講座を開講します。

そして学生と地域社会の連携については、公民館を地域づくりの拠点とし
て再構築していくなかで、地域活動への大学生の参画を促していければと
いうことで検討しています。

会長 ありがとうございます。

ほかにご意見・ご質問がなければ、協議事項に移りたいと思います。

まず第 1 号「第 1 期生涯学習審議会の研究報告書」について、事務局より
ご説明をお願いします。

事務局 資料 21 頁をお開きください。前回 2 月の審議会の後、学習プログラ
ムの作成と活用についてなど、各ご意見をいただきありがとうございました。
また、会長におかれましては、「第 4 章 おわりに」の箇所について、ご調整
いただき誠にありがとうございます。

先日、庁内の「生涯学習推進本部」の会議に報告しましたところ、審議
会委員にここまで考えていただくのはすばらしいと、好評をいただきました。

報告書については、事前に皆様にご確認いただいております。調整は
今回が最終となりますが、何かご意見などございますか。

会長 いかがでしょうか。報告書についてみなさんから更にご意見をお聞
かせ願いたいのですが、ここでSDG sを取り上げましたが、シチズンカ
レッジの中でもきちんと位置付けておられてありがたいと思います。SDG
sについての理解も進んでいると思います。

委員 今回、A グループでは公民館を活用した取組み「防災まち歩き」
を実施させていただきました。講座の開設にあたっては事務局にお世話
になりました。

委員 報告書全般についてですが、大変よくできていると思います。た
だ、これが報告を作った終わりになったらだめで、次にどうつなげてい
くかが大切だと思います。私自身は今回で委員を退任ですが、思
いは次の方につなげていってもらいた

いです。

会長 ありがとうございます。

委員 今回、このような形でプログラムをまとめましたが、やはりこれからどう実行していくかが大事になってくると思います。特にCグループでは障害のある人もない人もそれに関わらず対象にしていますので、いかに参加者を集めるかという部分と、いかにボランティアさんに来ていただけるかという点が大きなキーになると考えています。ですからそれを克服する広報戦略はよく考えて行う必要があると思います。

それと西宮市は他市に比べて生涯学習に対してポジティブに取り組んでいると思っています。ぜひ末永くその姿勢を維持してやっていく必要性があると思います。

会長 ありがとうございます。

委員 前回、会長からの提案で、委員のみなさんのコメントを掲載するようになりましたが、ご自分の言葉で、狙いや思いを語られており、すごく充実してよくなったと思います。自分の関わったBグループについて言えば、「子育て中のパパ・ママのためのビジネス講座」について、もう少し書いてもらえればもっと充実すると思います。

委員 産業文化局のスポーツ推進課では、各小学校区にスポーツクラブ21を置いています。今回、Aグループが実施したことはスポーツクラブ21や地区の子ども会等、関係する団体を上手に活用すればさらに参加者やボランティアを幅広く募って、いろいろなことができると思います。

委員 この報告書では多様なところに関わっていますが、僕自身はある特定の分野（芸術）から参加させていただき、さまざまな多様性を勉強させていただいたと思います。これからの展開の多様な広がりについてどう対応していったらいいのか、期待すると同時に大変だと改めて思いました。

副会長 私はAグループで「防災まち歩き」に参加させてもらいました。公民館に掲示してある報告を見て、「参加したかった」という親子の声を聞き、もっと広がりをもつことのできる企画であると思い、自分が所属する青少年愛護協議会で今後引き継いでいきたいと思うと同時に、他の地区へ広がっていく企画だと思いました。

委員 報告書の内容というより、自分が今後の課題に感じている点を述べたいと思います。まず「公民館とまちづくり」が西宮市にとって大きなテーマであり、課題になっていると思います。学習プログラムはある種単発的な、点としてのイベントですが、それはまちづくりや住民のみなさんのネットワークのきっかけでしかないと思うので、もっと全体的な戦略、まちづくりにむけてイベントをどうつなげていくかという戦略的なイメージを我々も持ち、それを周囲のみなさんと共有するという点が非常に重要だと思います。具体的なプログラムの内容も重要ですが、同時に全体的なまちづくりと学びをどうつなげていくかという戦略を忘れずに意識していきたいと思います。

次に報告書でも述べられていた評価のことですが、「客観的な評価」というのはとても難しいと思いますし、評価することが目的にならないように常に注意しておきたいと考えます。それとあわせて何を指標に評価するかをしっかりと議論しなければならぬと思います。先に述べた戦略やまちづくりのビジョンやイメー

ジがあつてこそ、適切な評価や指標が定まってくると思います。

会長 もともと西宮市のめざす将来像は「学ぶ・つながる・支え合う」ですので、学ぶための学習プログラムをどうつなげていって、支え合う仕組みづくりをどう作り上げていくかを考えるのが大事だと思います。

事務局 皆様、大変多くのご意見とご感想をいただきありがとうございました。
いただいたご意見を受けまして、後日最終調整をさせていただいた後、できれば今月末頃に市長へ提出したいと考えています。
また、今年度は、生涯学習企画課より学習プログラムについて、社会教育機関や団体様へご案内し、共催の形で積極的に実施していきたいと考えていますのでどうぞよろしくをお願いします。

会長 ありがとうございました。
この報告書の作成にあたりましては、委員の皆様には本当にご苦勞をおかけしました。学習プログラムだけでなく、いろいろな面でご協力をいただいたと思います。
「客観的評価」についても、評価というのはやはり必要だと考えていて書かせていただきましたが、評価にあたっては指標も大事ですが、一方でプログラムを通じて話し合うということ、いろいろなかたちのフィードバックを含めて評価というものを考えていきたいと思ひます。
コロナの時代が2年続きましたが、それからいかにハイブリッドな学習を西宮市が仕掛けていっていただけるか期待しています。
また、大人の知識やスキルを、調べる学習や読書を通じて得られるように図書館がもっと発展していってくれと嬉しいです。様々な新しい試みを行っている大学図書館などもあります。西宮も大学図書館という資源を活かすような方向で、西宮市の生涯学習も発展できたらいいなと思ひています。

続いて、協議事項第1号「令和4年度の審議内容」についてです。
事務局よりお願いします。

事務局 資料49頁「資料5」をご覧ください。
次期（第2期 令和4・5年度）生涯学習審議会のテーマについてご説明いたします。
昨年度は、委員の皆様にはSDGsを活用した学習プログラムの提案をしていただきましたが、次期審議会では、「地域に根ざした社会教育施設（公民館・図書館）のあり方について」の審議を予定しております。
社会教育施設には、地域活性化・まちづくりの拠点、地域の生涯学習拠点などとしての役割も強く期待されており、住民参加による課題解決や地域づくりの担い手の育成に向けて、住民の学習と活動を支援する機能を一層強化することが求められています。
次期は、公民館や図書館などで行われている様々な生涯学習事業の意義・目的を再確認しながら、学習体系を確立するとともに、今後の社会教育施設（公民館・図書館）のあり方について議論できればと考えています。

会長 ありがとうございました。
このことについて、何かご意見はございますか。

委員 率直に言って、すごくいいテーマだと思ひましたが、同時に難しいテーマだとも感じております。
社会教育施設と一括りにしてしまうことはできず、例えば公民館と図書館では

重なるところもありますが、一緒にはなかなかできないところもあると思います。いったんどちらかに軸足を据えた方が、議論がしやすいのではと感じております。私個人としては委員を去る形にはなりますが、永らく公民館の研究をしてきましたので、引き続き西宮の公民館の動きも見させていただくと同時に勉強させていただきたいと考えております。よろしく申し上げます。

会長

ありがとうございました。では、最後に「その他」の事項です。

皆さんは、旧 社会教育委員会議から生涯学習審議会へ移行した最初の委員となります。また、今期が最後の委員もたくさんおられます。

社会教育委員から生涯学習審議会委員へ移ったことも含めまして、今後西宮がどのように生涯学習を展開していけばよいのか、委員のみなさんからお知恵をいただきたいと思っております。

では、名簿順に申し上げます。

委員

私自身は中学校長会から審議会に参加させていただいておりましたが、次期は小学校長会から委員が参加させていただくこととなります。

これまでは中学生の状況を踏まえて私なりに生涯学習について意見を言わせていただきましたが、今後はまた違った視点が入ることで、審議がより活性化されるのではと期待しております。今後も距離をおいてですが、応援していきたいと思っています。

私の中での生涯学習の理解はすごく大きいものであると感じています。もともとは社会教育でしたが、その頃は西宮の教育は学校教育と社会教育の二本立てで物事が進んでいたと思います。その社会教育が生涯学習にかわることによって、生涯学習の一部としての学校教育という位置づけになったと思います。学校を卒業してもなお学び続けよう、地域に貢献しよう、地域で活躍しよう、そのために学生時代にどんなことを学んでいくのか、どんな物事の考え方をしていくのかの礎をつくっていかねばならないと、今回審議会に参加させていただく中で考えさせられました。では中学校では具体的にどうするのか、カリキュラムにどう組み込んでいくかを考えますと、非常に難しく部分がありまして、折衷的なことをいえば、生徒会活動を中心にしながら、地域ボランティアに貢献して、地域との結びつきのなかで視野を広げていく、そして今自分たちのできることは何なのかを考えて、探求していく姿勢を身に付けさせることが大事なのだろうと感じております。その意味ではこの生涯学習審議会は終わりのないテーマをずっと追いつけることになるのではと思っていますし、これからの日本の社会には必要不可欠ではないかと思っています。今回この会議で学んだことを自分の立場で何ができるか考えて取り組んでいきたいと思っております。ありがとうございました。

会長

ありがとうございました。

委員

学習プログラムではAグループに参加して、「防災まち歩き」を実施できたことが大変うれしく思います。

私の所属する子ども会は、普段からいつも子供たちに寄り添って行事をしております。先日の「防災まち歩き」では、参加された親子が、大学生のお兄さんお姉さんや事務局の皆さんが見守る中で、体験活動をとおして親子で成長していく姿を見て、子供というのは経験を通じて伸びていくのだということを見させていただき、本当に感激し感謝しております。

この「防災まち歩き」が、市で予算をとっていただき、続いていくということがとても嬉しいです。先ほど副会長もおっしゃいましたが、青少年愛護協議会でも「防災まち歩き」の実施に手を挙げてくれた地区があるということで、この行事が続いていくことが私自身とても嬉しいです。

西宮の生涯学習をひろげ、持続可能なまちづくりをしていくためには公民館が

中心になってやっていかなければならないと思います。その意味で公民館がまちの中心に実際になっているかといえば、なかなか難しいところがあります。令和4年度も引き続き審議していただいて、公民館がまちの中心になっていただきたいと思います。

社会教育委員の時代から6年間関わらせていただき、最近ではコロナということもあり、委員のみなさんと直接お会いできなくて寂しく思うこともありました。委員や事務局のみなさんと知り合いになれば、たくさんのことを勉強させていただいて、感謝しかありません。本当にありがとうございました。

会長 ありがとうございました。

委員 この審議会には、芸術文化関係として参加させていただいています。そういった世界では「個」の行為が中心になります。3年ほど前になりますが、アウトリーチ事業の一環として小学校4年生の授業に絵描きとして呼ばれたことがありました。自分の作品で、できるだけ不気味に見える作品を選んでもっていきました。作品を子供たちに回し、手で触ることも許可し、美術の価値は無限にあり、○と×の世界ではなく、その間の世界だということ伝えました。その時に嬉しかったのは、授業の後、子どもたちが全員、僕に握手を求め、面白かったと言って帰っていきました。このことで、ひとりの人間が大事だと思っていることを伝える場の設定の在り様が多様にあることを学びました。

またこの審議会は、狭いジャンルに生きている人間が、多様な人たちが生きている世界のなかでどうあるべきか、何ができるか、ということを考える機会になりました。

もうひとつ、私は芸術文化協会という世界の人間が何らかの形で、このコロナ禍のなかで、役に立てることはないかと考え、公民館の廊下や階段等に全く美術作品がないのではないかと、思いました。公民館の倉庫の中に、超有名な作家の作品が死蔵されていたのを発見し、現在は展示されています。小学生の作品を芸術文化センターへ展示するのを手伝いに行ったり、個としての美術家が自分の住んでいる地域の社会教育施設等で発揮する能力はあるのに、そうするための設定ができない。機能を運用するためどなたにお願いしたらいいかわからない。芸術文化協会も美術家をそのように地域で生かす組織づくりをしなければいけないと実感しました。全てお応えできるわけではないが、地域との協力体制は取れると思うので、遠慮なく相談していただきたい。

委員 どうもありがとうございました。芸術は人間の創造性を広げる領域だと思いますが、芸術家一人ひとりを地域に根付いてもらうために、芸術の場を置いていくことは大事なことだと思います。今後ともサポートをお願いします。

副会長 会長にはずっとリードしていただき、勉強させていただいてありがとうございました。

社会教育委員から生涯学習審議会委員へかわったことを振り返ってみると、社会教育委員はスマートな印象があります。生涯学習審議会の委員になって自ら動いているいろいろな経験ができたことは良かったと思います。このことはこれからも地域で活動するのに役立つと思います。

佐藤先生とも以前からお話しさせていただいていたのですが、社会教育施設のうち、公民館の占める役割は大きなものがあると思います。これからも公民館の動向を見ながら、聞きながら勉強させていただきたいと思います。お世話になりました。本当にありがとうございました。

会長 いつもリモート参加で、現場では副会長にお世話になりました。
今後ともつながりは消えることはありませんので、よろしくをお願いします。

委員

皆さんのお話を伺いながら、私自身の初心、なぜ公民館や社会教育に興味をもったかを思い出していました。

思春期の頃、学校の抱える問題は学校だけでは解決できないと強く感じ、社会教育という領域に学校を救う可能性を感じたので、足を踏み入れた経緯があります。

コロナに生活を激変させられた経過がありますが、この2年半で我々が気づいたのは、「つながり」の大切さではないかと思います。一方でこの会議もオンラインで、ハイブリッドで開催されていますが、いろいろな技術のおかげで、恩恵も被っていますが、対面で会うこと、集うことの他への代え難さも考えさせられたと思います。

地域というのは物理的に近くに居住しているコミュニティですが、コロナによって人と会えなくなったというのはあるのですが、それ以前からつながりが薄れていたという事実もあり、そういう時に公民館はつながりを生む場所であるべきだし、そうあってもほしいけれど、それが西宮に限らず機能していないことも現実だったりします。地域住民同士、子供と大人、多世代、様々なつながりを生む拠点として機能できていないのなら、どうしたらいいのか、テーマや表現は違いかもしれませんが、我々もこの会議の場で考えてきたと感じています。

他方、公民館の話を始めると、学校の存在が後ろに引きがちになってしまうとか、もう少し、学校の児童・生徒と地域の大人たち、あるいは青少年も含めて、公民館へ集えるようになればいいと考えます。学校ではできない教育、学校だけでは負担が大きいこと、公民館と学校が一緒になってどう子供を育成していくかも重要なテーマのひとつとして公民館のまちづくりワークショップなどでも取り上げていただきながら、公民館で、学校の先生も保護者も地域の大人も子供をどう育てていくか話し合えるような対話の場ができたらいいなと思いました。

来期も引き続き充実した議論していただけることを期待していますし、何かの折には関わらせていただく機会をいただけましたらすごく嬉しいなと思っています。今までありがとうございました。

会長

ありがとうございました。

委員

公募委員ということで、2年間大変お世話になりました。

たまたまインターネットを見ていて西宮市のホームページを見ていたら、生涯学習審議会委員の募集のことが出ていて、「これだ」と思い、原稿を書いて、面接を受けさせていただいたら受かりました。自分の中で何か反応したものがあつたみたいで勉強させていただいたのですが、家庭の事情もあり、いわゆる支援とか寄り添うということが非常に大事だと思っています。とにかく忍耐強くやらないといけないことで、生涯学習も同じだと勉強させていただきました。市民目線で言いますと、生涯学習とか社会教育とか言っても分かっていない人が多いのが現実だと思います。なぜわかっていないのかという問題は行政としても常に考えていかないとはいけません。

100歳まで、ということで国もいろいろ言っていますけど多分、70歳がひとつのポイントになるというのが個人的見解です。これから生涯学習を考えるについては高齢期を含めた発達というところも非常に大事だと考えています。他人に聞いて済まそうとせず、自分で調べて行って学べるということが、特に高齢期になってくると大事だと思います。

それと生涯学習、家庭学習、学校の学習がありますが、家庭学習が1階部分にくるべきもので、その上の2階部分に生涯学習・社会教育がくるべきだと、この2年間自分で勉強してきて今思うところです。

最後に、西宮市では知的障害を含め様々な障害を持たれる方への支援が発達していると思います。特にアイビーさん、みんなの大学校さん、一羊会さんといっ

た団体と行政の健康福祉局との連携を深めていく、生涯学習もそうですが、そのことを強調しながらやっていく必要があります。

今回の学習プログラム、Cグループですが、テーマが広すぎて、3つのプログラムをつくっていますが、今後、バージョンアップしていくに際しても難しい部分はあると思います。そういった意味も含めて、本当に勉強させていただきました。他の委員さんは知見も経験もお持ちの方ばかりなので、最初はすごく戸惑いましたが、2年間やらせていただいて自分にとっての財産になったと思っていますし、これからも自分なりに関わるところで関わっていきたいと思っています。会長を始め委員の皆様、本当にありがとうございました。

会長

自分自身もそうですが、誰でも年齢を重ねていけば、身体に障害がでてきます。障害があっても学び続けられる環境づくりが必要だと思います。とてもいいご意見をいただきました。今後ともご支援をお願いします。

「学び」と「つながり」についてはお話しいただいているのですが、「支えあう」という視点もすごく大事じゃないかと思っていて、次期の社会教育の計画の中でも、公民館と図書館は挙がっているのですが、それを支えていく体制として、行政職員の研修、学校教員の研修、司書や社会教育主事の配置と研修抜きには語れないと思います。生涯学習のシステムを支える指導者たちの研修の機会も考えていく必要があると思います。生涯学習審議会では踏み込んだ議論は難しいのですが、それをやはり考えていってもらいたいと思います。

委員の皆様からは貴重なご意見をいただきありがとうございました。とりわけ今回で退任される皆様につきましては、今後のご健勝と活躍をお祈り申し上げます。これからもできれば生涯学習の事業を支えていただきたいと思います。

委員

PTA活動も問題が山積しておりまして、PTAも社会教育団体として、保護者の学びについて考え直さなければならないと思っています。

いじめ、障害、持病、様々な生き辛さを感じている子供さんがおられます。幸い、私の子供は特に問題を抱えているようではなく、学校が好きだと言って毎日通っています。しかし、我が子さえよければよいというのではなく、我が子の周りの環境ごと大切にしなければいけないと思っています。

生涯学習は想像力や思いやりからくるものなのかと感じました。来期も引き続き務めさせていただきますのでよろしくお願いします。

会長

来期は、公民館や図書館についての意見をお願いします。

委員

先ほども申し上げたように、私は大社地区でして、来年度は大社公民館での事業が増えそうだと思います。

会長

来年度もいっぱい意見をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

委員

この会議ではたくさんの人にお会いできて、学ばせていただくことも多くて感謝しています。

私は普段は学校教育という立場から物を見ているのですが、学習指導要領では地域との連携という言葉は載っているのですが、なかなかどう運用し、実践すればよいのか、現場の教員からは分からないという声も聞いております。今回、委員ということで、地域との連携の実践を学ばせていただき、経験をさせていただきました。来期も委員を続けさせていただきますが、よろしくお願いします。

会長

これからお知恵をお貸してください。

では、最後に事務局より、事務連絡などについてお願いします。

事務局

ご挨拶をいただきまして、みなさん本当にお疲れ様でした。
ありがとうございました。

少しだけ連絡事項をお伝えさせていただきます。

次回の生涯学習審議会は、6月9日（木）に開催いたします。コロナの状況も見極めながら、少しずつリアルの会議もやっていきたいのですが、今回は本日より同じように、オンラインを併用した形で開催いたします。状況を見ながら考えていきますので、よろしくをお願いします。

次期審議会でも継続される委員の皆様には、引き続きお世話になりますが、どうぞよろしくお願いたします。

会長

ありがとうございました。

以上をもちまして、第6回生涯学習審議会を終了いたします。

みなさん、どうもありがとうございました。

以 上